

R × R = Happy



生徒作品

丸亀市市民交流センター「マルタス」にて展示されました。

vol.6

特集① RITA 学園高等学校第1期生卒業！

令和3年4月に開校した RITA 学園高等学校。令和6年3月10日、RITA 学園高等学校第1期卒業生 40 名が自分の無限の可能性を信じ、羽ばたいていきました。

表彰された生徒達を紹介します。

学校法人利他学園理事長賞



様々な先生方の心遣いのおかげで検定取得や友達もできて、それらが評価されたのかなと思うと凄く嬉しかったです。

進学先では高校での経験を活かし、もっと会話の経験を積み、心理職で役に立てるように頑張りたいです。

奈良学習館
隠岐実里

全国高等学校通信制教育研究会会長賞

年間あっという間で、卒業の実感がありません。これから先、関わる人が笑顔になれる様、頑張っていきたいです。

先生方にはとても感謝しています。お世話になりました。

本校
三野 晃



全国高等学校定時制通信制教育振興会表彰



【生徒会活動】

3年間、いろんなことがあって楽しかったです。RITA 学園に入学して心から良かったです。先生方には本当に感謝です。

また遊びに行った時はよろしくお願いします。

本校
西野 峻理

【修学優秀者】

元々不登校で中学校にもまともに通えてなかった自分が 3 年間ほぼ休むことなく学校に通い続けられたのは、自分自身が頑張ったというのももちろんあると思いますが、学校自体の雰囲気や周りの友達、先生方が常にサポートしてくださったおかげだと思っています。このままの調子で進学しても無理せずに頑張っていきたいです。

奈良学習館
細田 奏汰



香川県高等学校定時制通信制教育振興会表彰



2 年間、サポートたくさんしていただき、
ありがとうございました。

一番印象に残ったのは他の生徒も優しく、
過ごしやすい学校でした。

これから社会人として頑張ります。

本校
水野 円香

RITA 学園高等学校奨励賞



3年間振り返って、リタ祭、島サバが楽しかったです。

先生方には感謝です。

社会人になっても頑張ります！

本校
池田 亮史

表彰されて嬉しかったです。
これからも頑張ろうという
気持ちになりました。

本校
児玉 伸





学校生活と変わらず、社会人になっても同じように頑張っていきたい
と思います。

本校

山地 湧大

学校生活で日頃の努力が認められた気がして、とても
嬉しかったです。色々頑張ってきた甲斐がありました。
この嬉しさをバネにして、大学生活を過ごしたいと思
います。

奈良学習館

村上 天



「卒業生の皆さんへ 自分の物語を作る場として」

本校は、令和3年4月に禅林学園高等学校から RITA 学園高等学校に校名を変更しスタートし、
この令和6年3月に第1期卒業生を輩出させていただくことになりました。

教育学者で臨床心理学者の河合隼雄は「生きるとは、自分の物語をつくること」だとおっしゃ
っています。臨床心理の仕事とは、自分なりの物語を作れない人を、作れるように手助けをする
ことだと言います。「私のところに来られるような人は小説を読んで救われたり、ヒントを得たり
するんでしょう。」「来られた人が自分の物語を発見し、自分の物語を生きていけるような場を提
供している」と述べています。

学校、教師の仕事もよく似ています。青年期と言われる高校生になると、身体的な変化と同時
に自我の発見という心理的变化が起きます。だれも自分の気持ちをわかってくれないという被害
的な思いや、自分の考えていることが絶対正しいとする独善的な思いを持つこともあります。こ
のように、青年期は自分の独自の心の世界に気づき、自分の考えや判断が間違ったり失敗するこ
とがあっても、他者の意見を参考にしながら、生きるための自分の物語を作る時期だと考えます。
利他の心は、生きるための自分の物語を作るヒントになると思います。未来がある生徒たちに「生
きるための自分の物語を作る場を提供する」のが RITA 学園の大事な使命だと考えています。
卒業生が、本校で育んだ利他の心で、生きるための自分の物語をつくってくれると信じています。
卒業生の皆さんが社会の貢献できる人財となることを祈念して挨拶とさせていただきます。

RITA 学園高等学校 校長 小野 康裕

特集② 高松キャンパスに期待すること

2024年4月に本校直轄のサポート施設高松キャンパスがスタートしました。

本校開校当初から、高松でのサポート校の希望の声があり、この度、本校の応援サポート企業でもある「株式会社ユニーク」様のご協力により、好立地条件の施設をお借りすることができ、スタートする運びとなりました。

趣味の時間の確保やバイトも行える余裕のある時間割り設定し、一人一人に寄り添った学習指導や生徒同士の繋がりを大切に”自分流の学校生活”を送ることができるサポートを行います。

特 徴

- ◇ ことடன்「瓦町駅東口」から徒歩100mの好立地条件!
- ◇ 本校に来校しなくても、高松市内でスクーリングができます!
- ◇ 本校の様々なイベントにも参加できます!



「『利他の心を育む』教育を通じて、関わる全ての人の素晴らしい人生を応援します」という本校の教育理念を、香川県下においてより拡大展開することが可能となりました。

皆様、ぜひ応援の程よろしく願いするとともに、本校の学習を必要とされている方にご周知をお願いいたします。

RITA 学園の学校生活の様子をお届け致します！ (令和5年度10月～令和6年3月)

10/28(土)【第3回 夢プロジェクト】

四国学院大学を会場に、奈良、神戸からも生徒が駆けつけて、皆で一丸となって夢プロジェクトを開催いたしました！大峰堂薬品工業株式会社様、有限会社生島興業様の講演は、社長と就職した卒業生に登壇いただき、働くことの意義等についてお話しいただきました。Let's find Rita では、生徒が応援サポート企業に訪問し、取り組まれている利他的などについて調べ、動画を作成して発表しました！

Fukushima×RITA では、本校と福島県との繋がりとこれからの可能性について発表しました。そして、最後は生徒の夢の発表です。夢を見つけた生徒、見つけている生徒、人生に向かい合う素晴らしい発表でした。



10/29(日)【第3回 RITA 祭】

連携校である奈良学習館からは、教員、保護者を含め 50 人近い生徒が来校しました！両校の生徒会長挨拶から始まり、福島物産展、福島 B 級グルメ、屋号「銀次郎」のフランクフルト、RITA カフェ☕、奈良学習館お馴染みの明石焼きなどなど！生徒達が考えたブースで校舎は賑わってました！！

最後は生徒二人による Live！お年寄りの方も一緒になって盛り上がり、とても微笑ましく感じました！



10/31(火)【ハロウィン町内清掃】

恒例のハロウィン町内清掃🎃今年も生徒だけでなく教員も張り切ったの仮装をしてハロウィン清掃を行いました！清掃中、近隣の方々から手を振っての応援もいただきました！🚩

清掃後は、ハロウィンプチパーティー！今年も楽しく活動することができました！！



11/11・12(金)【 研修 in 高知県仁淀川町 】

高知県仁淀川町に行きました！本校の評議員でもある政治学者のロバート・D・エルドリッチ様のご息女、エルドリッチ愛未さんが仁淀川の町おこしをされている関係で、自然体験研修で訪問させて頂きました。

初日は、仁淀ブルーで有名な仁淀川に行きました。仁淀川からの水道水は透明で美味しく、ガラスコップに注がれているお水をみて、あまりの透明さに生徒は、びっくりしていました。

2日目は秋葉神社に訪問し、宮司の方に歴史を説明して頂き、その後のバイオ炭づくりでは、ポビーさんの指導の下、慣れないスコップでの作業、火の管理など、初めての経験をさせて頂き、生徒にとっても貴重な体験となりました！！



12/8(金)【 豆腐作り体験 】

本校の応援サポート企業になって頂いている仁尾興産株式会社様を訪問し、豆腐づくり体験をさせて頂きました。仁尾興産株式会社が運営しているCAFÉ『にがり衛門』において豆腐マイスターの資格を持たれている高橋様にご説明頂いた後、いぎ豆腐づくり開始！

大事な工程が多く、生徒達は皆真剣でした。無事に完成し、できたばかりの豆腐に塩をかけて頂きました。濃厚な大豆の香りと甘みが引き立つ豆腐は今まで経験したことのない味です。生徒達もその味に驚いていました。その後、『にがり衛門』のランチをいただき、生徒は作った豆腐を嬉しそうに持って帰っていました。

仁尾興産株式会社様、生徒達に素敵な体験をさせていただく機会をいただきありがとうございました！



1/19(金)【 餅つき大会 】

RITA 学園高等学校開校初の餅つき大会でした！杵と臼での餅つきはもちろん、お餅を丸めることも初めての生徒も多く、こちら満面の笑顔でした。杵と臼を寄付していただいた山根講師も駆けつけてくれ、餅つきの極意を伝授して頂き、美味しいお餅ができ生徒と教職員もお腹いっぱいになりました。これからも日本伝統の様々な行事を体験し、生徒、教職員共に日本の良さを改めて感じ、そして他者の良さも認められる「利他」の心を育んでいきたいと思ひます。



2/9(金)【 障がい等体験学習(ボッチャ大会) 】

障がい学習の一環として、ボッチャ大会を開催しました！

ボッチャという競技は、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、全ての人と一緒に競い合えるスポーツです。いつも子ども食堂で、生徒がボランティアでお世話になっている本校近く「お惣菜処てつや」さんがされている「デイサービスゆず」のおじいさん、おばあさんの皆さんをお招きしました！皆さんボッチャは初めてでしたが、とても喜んで頂けました！それより嬉しかったことは、生徒たちが自然と優しく気遣っている姿でした ✨

生徒たちも楽しい経験ができて良かったと高評価！地域の色々な方との関わりで利他の心を一緒に育んでいきたいと改めて実感しました！



3/10(日)【 卒業証書授与式 】

今年度は39名の卒業生を送り出しました。本校は広域通信制であるため、奈良県の会場と中継で繋ぎ、場所が離れていても一体感を持って式に臨むことができました。

多くのご来賓の方々へ出席して頂き、本校の応援サポート企業である仁尾興産株式会社 代表取締役であられる塩田健一様、本校の理事であられる株式会社宮田運輸 代表取締役会長 宮田博文氏より、希望のお言葉を頂きました。

友人とのトラブルに悩んだ生徒、仕事と家庭と学業の両立に立ち向かった生徒、ギリギリまで単位修得に頑張った生徒、何回も進学試験に挑戦した生徒・・・今日は皆が主役として輝いていました ✨

卒業生の皆様、大いなる活躍を期待しています！！



行事を振り返って

今年度は去年以上に多くの行事を取り入れました。様々な行事ができるのも、応援して頂いている多くの方のご尽力のおかげです。生徒には色々な発見、多くの人との出会いを経験し、将来の糧として学んでほしく思います。次年度は開校4年目を迎えます。行事ごとにもさらにさらに磨きをかけ、「利他」の心を育み、これからも生徒の成長を願い、皆で一丸となって盛り上げて参ります。これからも応援よろしくお願ひ致します！！

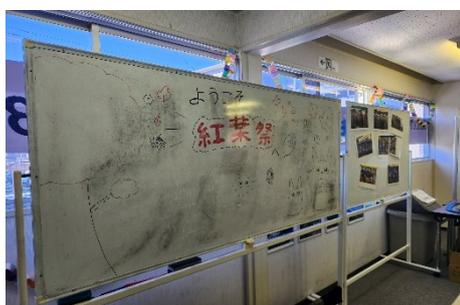


11/19(日) 紅葉祭

文化祭(紅葉祭)が奈良学習館で行われました!
各学年の文化祭実行委員が中心となり、焼き鳥を始め、唐揚げやフランクフルト、ベビーカステラ、保護者の豚汁、バザー2階ではボウリングや射的など様々な模擬店があり、本学園の関係者だけでなく、多くの方のご来場がありました!

生徒主体で作り上げた文化祭。準備の段階では意見の対立もあり、とても大変でしたが、「文化祭を成功させる」という一つの目標に向かい一生懸命準備してきました。

お陰様で、大盛況で終わることができました!



1/19(金)体育集中授業

近くのスポッチャに体育集中授業として行ってきました!
普段の授業では、なかなか身体を動かす機会ないのですが、学年同士で遊ぶ姿や学年を越えて遊ぶ姿などが見受けられました。
他の学習館の生徒とも交流が出来て楽しそうでした!
生徒だけでなく教員も共に楽しめました!



2/20~3/中旬 職場体験



職場体験に1年生と2年生が行ってきました!

今年はなんと18社の企業様が受け入れてくださりました。

実際に社会に触れる貴重な体験が高校生で出来るのは大変いい機会だと思います。

体験に行く前は緊張している生徒もいましたが、体験後に生徒から話を聞くと「楽しかった」

「また機会があれば行きたい」などの声がありました。

このような体験を通じて学習館では学べないことを経験したと思います。

地域の企業様、応援企業様、お忙しい中受け入れてくださり本当にありがとうございました。

【受け入れてくださった企業様一覧】

株式会社アーキネット様・アルシオン 東生駒店様・ていくあい有限会社様・奈良こども館様・

株式会社 epo 様・HIRAKU ホールディングス株式会社様・office masui 様・株式会社フェイス様・

べっぴん奈良漬様・花神総本店様・I.S.コンサルティング様・ライフィンサービス株式会社様・

とみお整骨院様・株式会社ジンジブ様・ワークラボ株式会社様・株式会社ミスタートンカチ様・

坂口鍼灸院様・Taishin 様 (順不同)



3/11(月)リタ学園卒業式



前日に本校の卒業式を行い、11日にリタ学園奈良学習館・神戸学習館の卒業式を行いました。

会場は終始深い感動に包まれていました。送辞は生徒会長の2年生から。答辞は元生徒会副会長の3年生からでした。答辞では今までお世話になった教員全員へ一言ずつ話してくれ、教員一同感動し、涙していました。

退場の際には、生徒から保護者へ感謝の気持ちを伝えて一輪の花束を渡しました。

生まれてから今までの感謝を涙ながら伝えていた生徒もいました。また、卒業記念品で「べっぴん奈良漬様」から卒業生全員に奈良漬を頂きました。生徒達は大変喜んでいました!

16人の卒業生、進学先、就職先でも大きく羽ばたいてください!





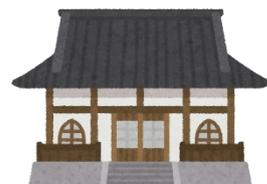
11/17(金) 校外学習@人と防災未来センター

秋の校外学習は『防災』について学びに行きました！ 阪神淡路大震災での出来事を振り返る展示や地震や津波の仕組みについての体験型の学びの場も。また、地震だけでなく、「大雨・洪水警報」について実際の家を用いた体験コーナーもありました。生徒と一緒に教員も『防災』について改めて学び、意識が変わった一日となりました。



12/8(木) 須磨寺訪問

源平ゆかりのお寺でもある『須磨寺』、また今の副住職様は、YouTube でも『須磨寺小池陽人の随想録』というチャンネル名でご活躍されています。小池さんが実際に須磨寺を紹介してくださいました。様々な仕掛けがあるお寺さんで、カエルの頭が回ったり、大きい数珠を首にかけられたり…お近くに来られた際はぜひ覗いてみて実際に体験してみてください！



3/11(月) リタ学園 卒業式

10日に RITA 学園高等学校の卒業式が行われ、11日はリタ学園の卒業式。今年度、神戸学習館から初めての卒業生を送り出しました！ 卒業式の会場は奈良学習館で奈良の生徒と一緒に行いました。生徒の3年間で成長をした姿に心を打たれました。また、帰る際には「新入生の顔を見に行きます」との声をかけも…！ 本当に卒業おめでとう！



My town in 神戸

リタ学園 神戸学習館の周辺おすすめスポットをご紹介します。今回は、教室の入ったビルの目の前にある「東遊園地」を、神戸学習館の教員「樋口」と1年生の「西村くん」でご紹介いたします。



東遊園地(ひがしゆうえんち)は、兵庫県神戸市中央区加納町にある神戸市管理の都市公園です。遊園地といっても、色々な乗り物があるわけではありません。自然公園というイメージが近いでしょうか。1995年の阪神淡路大震災以降は、この場所が「ルミナリエ」や「1.17 希望の灯」等の追悼行事の会場となっています。



そのほかにも、飲食物の販売や休憩スペース、レンタルスペース等も設置されています。さすが神戸、公園一つとっても、大変おしゃれですね。コーヒーを片手に東遊園地を散歩するだけで、シティーボーイやシティガールに変身することができます。



市街地の真ん中に位置する公園ですから、物理的にも歴史的にも「神戸」という町に住む市民のライフスタイルの中心になっている東遊園地。神戸学習館では、授業につかれたときはここにきて休憩し、英気を養ってまた勉強に励む。という使い方をしている生徒もいます。

これからも末永くお世話になります。



特集③-1 街の応援団

NPO 法人光かがやく絵顔の種 代表理事 横田律子

法人設立3年目を迎えます。設立当初から貴高校様においては、多大なご協力を賜り心から感謝申し上げます。

重機マルシェ:子供たちが楽しむ体験イベント

昨年、4月29日、街の応援団という形で重機体験&マルシェに参加させていただきました。このイベントでは、重機に触れる機会がなかなかない子どもたちは興味津々で体験を楽しんでいました。また、ワークショップも同時に行われ、子どもたちが楽しみながら学ぶ機会が提供されました。当法人も、いくつかのブースを出店させていただき、ワークショップや体験型の活動を共催しました。生徒様とともにこのイベントに積極的に参加し、有意義な時間を一緒に過ごすことができました。

8月のマルシェ:夏休みの楽しい思い出作り

8月には、RITA 学園高等学校様の校舎をお借りして、当法人主催のマルシェが開催されました。このマルシェでは、夏休みの宿題になるようなワークショップが主体となり、子どもたちが楽しめるイベントが行われました。貴高校様の校舎をお借りすることで、地域の子供たちが安心して参加できる環境が整い、生徒の皆様も、バンド演奏などで参加し、イベントを盛り上げていただきました。これらの活動を通じて、貴高校様と地域の連携が強化され、地域の子供たちが楽しみながら学ぶ機会が提供されていくことだと思います。

クリエイティブ講座

クリエイティブ講座を当法人のアート講師である横田が年5回担当させていただいております。生徒のみなさんの創造力や表現力、そして想像力に触れることができ、本当に素晴らしい体験をさせていただいております。アートレッスンで、生徒の皆さんの感性豊かな作品を展示する機会がありました。その作品の素晴らしさに、私たちは大変喜んでいきます。

これからも、RITA 学園高等学校様との協力を通じて、生徒の皆さんの才能や可能性を引き出し、成長を支援していけることを楽しみにしています。更に今後も、クリエイティブな授業やイベントを通じて、生徒の皆さんがさらに輝ける未来を築いていけるよう、共に取り組んでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



特集③-2 街の応援団

特定非営利活動法人あおぞら 氏家 法雄

私どもは多度津町で訪問介護、通所介護等高齢者福祉のほか、こどもの居場所づくりに取り組む事業者です。誰もが自立して生活し続けるための大切な支援ですが、それは自己責任とは無縁の、その人らしく生きていくためのお手伝いです。理念として「人に寄り添い、人を思いやる利他の心を育てたい」と謳う RITA 学園の生徒さんほか教職員の皆さまには、日頃よりこども食堂にご協力を頂き、多世代交流の輪に入って頂き、刺激になっています。地域を持続可能な形で未来へ残していきたいという思いを共有しながらお互いに切磋琢磨できることに感謝しております。



社会保障論の気鋭の学者・阿部彩は、居場所とは「社会の中での存在が認められることを示す第一歩」(『弱者の居場所がない社会』講談社現代新書)と指摘しております。誰もが生きただけで素晴らしいと思える地域づくりを共に加速できればと思います。そのことで生徒さんお一人おひとりの可能性が開花することが私ども法人の願いです。



Mr.Imai × 未来のタカラ

今号は、本校のオンラインスタイル2年生 中野克紀さん(生徒副会長)と今井理事長との対談です。テーマは「木鷄会を通じて RITA 学園で学べるって」。

木鷄会を通して何を得たのか、なぜ、本校が学校設定教科 利他育を設定したのか核心に迫りました。

特色教育『利他育』の導入について。

理事長 『到知』は大人が読んでも難しい本やねんけど、色んな生き方があること、苦しい時や壁にぶち当たった時に、ああこうやって壁を乗り越えていけるんやなと、僕は大きく勇気づけられた。それで自分にまだまだ可能性があることを知ることができた。生徒の皆には難しいかもしれないけど、自分がこういうふうになりたい、こういう生き方をしたいというヒントのきっかけになればと思って学園でも導入してるんやね。

中野 確かに『到知』は難しい本なんですけど、実際の成功体験を掲載してあるので、とても頭に入ってきてやすかったと思いますね。そして木鷄会についてですが、人間は相手の悪い部分はずぐに見つけちゃうと思うんです。例えばあれができてない、これができていないと。木鷄会での美点凝視の在り方を学び、相手に対してこれが出てくるじゃん！と良い部分を見つけられるようになったと思います。

理事長 まさしくそのとおりやね。見えてない部分にこそ大切なことがあるのに気づかず、当たり前のように生きてしまっている。・・・せやけど、今、話を聞いて、うわっ、凄いなど。高校生の時から美点凝視を学び、そういう考えが社会に広まればもつともっと良い社会になる、そういうことを RITA 学園として学んでほしいと思ってんけどねえ。

学校設定教科『利他育』について

中野 利他育を学ぶという機会を取り入れていただいているだけで、めっちゃありがたいですね。僕は生徒会に入っているのですが、もつとこの利他育を良くするにはどうすればいいのかなって考えていきたいですね。中学校までに学んだ道徳教育や人権教育とは違う視点で学べるので、さらに広めていきたいと考えています。

理事長 いやいやいや素晴らしい！こういう学校にしていききたいなという思い、利他育、木鷄会の導入の意義を含め生徒達にちゃんと伝わって、いいですと言ってもらえて凄く嬉しいなあ。僕の中で「そこは絶対そうや！」という確信があつて、ぜひ皆でそこを大切にしながらね、仲間も皆、同じようになつていけたら、社会に出ても、あつ、これが凄い大切やねんなどというところをこれからも活かしていけると思う。利他育を学ぶことで自分も素晴らしい人生を送り、また誰かのお役に立ったり良い影響を与える人に、皆がなつてくれたらなど、すごい

う学校になつていったら素晴らしいなと。ぜひぜひ、これからも頑張つてほしいですね。

中野 僕は将来、パソコンインストラクターになりたいと考えています。パソコンができない人に知識や技術を教え、これができるようになったよと言われたら嬉しいだろうなと思う。利他育で学んだ相手の事を考えるという事を活かされたらいいなと思っています。

理事長 素晴らしい夢やねと思う。今、学んでいる利他育を通じて自分を高めながら、目指している夢をあきらめずに頑張つてくれたら、まわりも応援してくれるんでね、頑張つて実現させてください。
中野 ありがとうございます。



～クラスの窓から～

♪♪♪ 生徒の思い Vol.6 ♪♪♪



本校：登校スタイル
2年 遠藤 築

自身の在り方

僕は幼い頃から少林寺拳法を習っており、その訓えの中に「自他共楽」という言葉があります。「人のために思い、行動する。自分だけでなく、他人の幸せも願いましょう」という意味が込められており、RITA 学園高等学校が大事にしている「利他の心」と共通するものがあり、その大切さをより実感しています。

僕の夢は、皆から尊敬される素晴らしい人間になることです。その夢を叶えるためには、まず自分が相手を尊敬し、思いやり、行動することだと考えています。まさに「利他の心」が必要不可欠になってきます。

RITA 学園は特別活動が豊富であり、その分他人と関わるが増えますので、この機会を大切に、多くの方とコミュニケーションを通じて、様々な利他を学びたいと思います。今の自分にできることを精一杯行い、勉強や部活だけでなく、「利他の心」をしっかり育み、自分の夢である、皆から尊敬される人間になるため、一步一步大切に歩んでいきたいと思っています。



リタ学園神戸学習館
2年 西村 健助

中学生の時の僕は「学校の環境が自分に合わないな」と感じており、普段はフリースクールやくすのき教室（通級）で勉強していました。そういった状況の中で進学先を探していたところ、リタ学園は「少人数制であり柔軟な時間管理が可能で、先生方が丁寧に指導してくれそうだな」ということを感じ、ここに入学することを決めました。入学してからは「急に高校生の範囲を学ばなければならない」ということはなく、中学1年生の範囲から丁寧に復習ができ、以前から興味があった「Excel」や「Word」といった文書処理を含むパソコン操作も学ぶことができました。これらの経験は学びの基礎を固め、技術的なスキルを身につけるのに役立ちました。

リタ学園 神戸学習館での印象深い経験としては、阪神淡路大震災人と防災未来センターへの訪問が浮かびます。この訪問を通して、地震や津波の影響、怖さ、防災の重要性と兵庫県のこれまでの歩みについてくわしく理解できました。

学校生活を1年間送ってみて学んだ重要な教訓は「自己中心的にならず利他の心を持つことが大切」だということです。他者への思いやりや協力の精神を育む上で重要な価値観です。今の僕は、自分の興味や強みと合う業界を理解し、面接練習や履歴書作成など就職活動に必要なスキルを身につけ、自分に合った会社に就職することを将来の目標にしています。自分自身の価値を認識し、それを伝える能力を高めることで、自分に合った会社に就職したいです。

「RITA 学園高等学校に期待するもの」

川村・藤岡綜合法律事務所

弁護士 藤岡 亮 (学校法人利他学園評議員)



RITA 学園の「目指す生徒像」の一つとして「人間として何が正しいか」という判断ができる生徒。」というものがあります。

環境破壊による自然災害が多発する現代において、私は、この「人間として何が正しいか」という判断ができることが極めて重要と考えます。この環境破壊は、まさに目先の利益をだけを追求した人類の行動の結果ですが、これまでの社会では、それも経済成長を求めた結果であり、一つの価値として正しいものだったと思います。しかし、今後、経済成長を求めるだけの価値観ではなく、新たな価値観を醸成していかなければ、人類が地球上にて生存していくことができなくなるのではと危惧しています。新たな価値観を醸成するには、「人間として何が正しいか」という基準が必要であり、まさに RITA 学園高等学校が実践しているところです。

RITA 学園高等学校から、より良い未来のために、次の時代を担う若者が巣立っていくことを期待しています。

京都大学大学院経済学研究科博士号

一般社団法人未来とコラボ理事

荒木 一彰 (学校法人利他学園評議員)

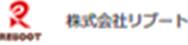
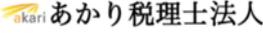
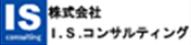
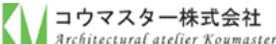
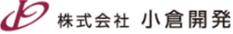
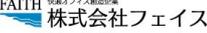
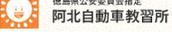
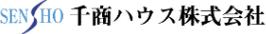
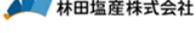
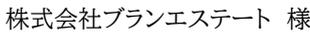


RITA 学園高等学校に期待することは「利他」という新たな実践を高校生たちに気づいてもらえることです。「利他」は単に自利と対比される概念ではない拡がりを持っていると考えています。自分のためか他人のためかという二元対立は心の底からやりたいと自然に思ったことを閉ざす恐れがあります。

「利他」の行いは特定の自分や他人を良くするだけにとどまらない可能性を秘めています。それに私自身気づかされたのは、私が関わっている一般社団法人未来とコラボを通じた小学生たちののびのびした姿です。本来、子どもは教育される前から素晴らしい力を備えていると実感しました。そして、もう一つ重要なのは、今の世の中で「利他」的な経営を通してみんなが良くなろうと取り組んでいる経営者たちの存在です。その経営者たちが RITA 学園を応援する環境があることは非常に魅力的です。ぜひとも、高校生たちには「学ぶこと」と「働くこと」を別々にせず一体で捉えてほしいです。それこそが未来のキャリアを拓くことになると確信しています。

RITA 学園の取り組みが日本全国に広がるだけでなく、日本発で世界の人たちにも「RITA」が共有できることを願っています。

応援サポート企業様一覧(順不同)

	徳武産業株式会社 様		宮田運輸株式会社 様
	きずな保育園 様		株式会社宮田トラフィック 様
	淀川加工印刷株式会社 様		株式会社ハッピーマーク 様
	株式会社ターン 様		オクト株式会社 様
	あかり税理士法人 様		株式会社リポート 様
トレモア・プランニング Tremore Planning Inc.	有限会社トレモア・プランニング 様		花園特殊車輛株式会社 様
	株式会社 I.S.コンサルティング 様		株式会社ユニーク 様
	株式会社森鋼材 様		ホームページテック株式会社 様
	小野シャンブル株式会社 様		株式会社 zer0tech 様
	株式会社メリックス 様		四国計測工業株式会社 様
	株式会社アーストレック 様		株式会社イング 様
株式会社泰宏産業	株式会社泰宏産業 様	有限会社湯浅钣金工作所	コウマスター株式会社 様
	少林寺拳法グループ 様		有限会社湯浅钣金工作所 様
	株式会社 GGP 様		有限会社ゲイル 様
	西岡商事株式会社 様		株式会社藤田工業 様
	株式会社グッドプランニング 様		ユニコム株式会社 様
	株式会社小倉開発 様		株式会社ギフトィア 様
	株式会社フェイス 様		中橋産業株式会社 様
	株式会社フジタカ 様		有限会社生島興業 様
	株式会社ラゴ 様		株式会社高松ホットスタンプ 様
	株式会社パパベル 様		株式会社阿北自動車教習所 様
	同和エレベータ工業株式会社 様		株式会社シロヤ 様
	株式会社サンセイ 様		株式会社 喜多猿八 様
	千商ハウス株式会社 様		有限会社 井上誠耕園 様
	大峰堂薬品工業株式会社 様		マルトク家具ベッド専門店 様
	株式会社エーエス 様		株式会社セントレディス 様
	仁尾興産株式会社 様		株式会社永野基礎 様
	有限会社村上興業 様		林田塩産株式会社 様
	株式会社ヤマシタ 様		株式会社クリエイト 様
	ナカタ産業株式会社 様		株式会社三恒 様
	北野工業株式会社 様		株式会社渋谷製作所 様
株式会社共和商会 様	エムダブ株式会社 様		丸亀市民吹楽団 様
	株式会社カシン 様		
	株式会社ダイトー 様		
	山下モータプール 様		
	株式会社ブランエステート 様		

応援サポートタ様一覧(順不同)

永田 義雄 様 久保 貴志 様 小池 由久 様 十河 孝男 様 藤本 博之 様
 石田 明 様 野澤 卓央 様 坂下 充 様 秋岡 裕子 様 松本 洋子 様 平峰 重芳 様

◆未来共育基金収支報告

皆様からのご寄附感謝いたします。

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
収入	寄附(企業)	2,450,000	40社	2,255,000	35社 (内継続25社)	3,175,000	36社 (内継続25社)
	寄附(個人)	1,242,200	延べ10人	1,309,849	延べ16人	595,000	延べ10人
	利息	17	—	47	—	55	—
	合計	3,692,217	—	3,564,896	—	3,755,055	—
支出	総体奨励金	26,295	—	36,890	—	—	—
	「致知」購入	—	—	1,508,400	—	1,803,300	—
	福島訪問	—	—	—	—	435,544	—
	高知研修補助	—	—	—	—	6,900	—
	合計	26,295	—	1,545,290	—	2,245,744	—
繰越		3,665,922		5,685,528		7,209,839	



未来会議のご案内

月に一度、RITA学園の教職員だけでなく、本校の理念に賛同して下さる大学教授や企業経営者、様々な支援活動をされている方々と共に、生徒たちの未来に対して、私たちが何をすべきかを皆で対話し、共に学びます。この会議には、どなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください！！

毎回、ご参加いただいている街の応援団の一人、内海祐子さんから暖かい応援メッセージをいただきました。

RITA 学園では未来会議というのが月に1度行われている。
月に一度、この会議に参加させてもらっているが、いつも思うのは、みなさん様々な視点から物事を見ているなあと思う。

生徒たちに何ができるのか？どうすれば人は成長できるのか？

一方で、学校という組織としての課題だったり成果だったり・・・。

「目に見えないもの」と「目に見えるもの」。両方の挟間で「生きる」・「愛する」を考える人たちの集まりのように思える。なので、私自身、ここで様々な学びの場を与えてもらっている。

この会議の珍しい取り組みは、地域の方々や応援企業の方々など、学校外の「人」を巻き込んで、いろんな議題について対話をしながら、互いに成長しあったり、相互に理解しあうところだ。この場では、自ずと利他の心も養うことにつながっているようだ。

なぜここまで教職員の方たちが、生徒さんや地域の方々との関わりに想いを込めようとするのか、とても不思議に感じたことがある。ただ単に一生懸命に、がむしゃらに、成果だけを追い求めようとするのではなく、大事なものは、目には見えない。だからこそ、よぉーく目を凝らして見ようとしたり、触れようとしている先生たちの姿に、心惹かれる。なぜなら「人間」という得体のしれない者たちの原点に触れようと、もがいている大人の姿がここにあるように思えて・・・。

また、生徒さんたちの意見を聴くこともあるが、ときに「はっ!!」とする瞬間があったり大人として考えさせられることもある。それは、彼らが純粋に生きているからこそその強力な光を放っているようにも思える。

その光を感じて、その光を十分に味わい、そして、その光で何ができるのか？

これからも、そのような素敵な光を放ち、自分の色で輝く子供たちや、そして大人たちが集える学校になっていってほしいと願っている。 今後も未来会議、参加させてください。



内海祐子さんは、事故の後遺症(脳脊髄液漏出症)を抱えながらも、通信制大学に進学し、引きこもりサポーターとして、若者によりそっている娘さん(hikari)を支えています。写真はそんな二人の作品です。



Vol.5 美味しいなぞなぞの回答です。

問題：『殻の真ん中を捨てる食べ物は何でしょうか？』

答え：かすてら

機関誌編集委員会 高見 久



学校法人 利他学園

RITA学園高等学校

RITA GAKUEN HIGH SCHOOL

〒764-0015 香川県仲多度郡多度津町西浜1 2 - 4 4

TEL : 0877-32-3000 FAX: 0877-32-3236

info@rita.ed.jp

<https://www.rita.ed.jp/>

